

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第94回 『子どもの自己表現力』

こころの相談員 小林 節子

小学校に本格的に英語教育が導入されるようです。国際人を育成するという目的のためでしょう。そうすると親としても「少しでも早く英語を習わせたほうがいいかしら」と思いたくなりますよね。しかし、海外の色々な分野で活躍している日本人を見ると、英語力の前に、「自分の考え、見識をもち、それを表現する力」がしっかり備わっているように思います。そうした能力を育てるにはどうしたらよいのでしょうか。もちろん、学校教育の力が大きいことはいうまでもありませんが、家庭で親にできることは何でしょうか。

子どもが幼いときは、子どもへの言葉かけがどうしても「指示、命令、禁止」に偏りがちではありませんか。しかし、いつまでもその傾向が強いと子どもが自分で考え、葛藤しながら選択し、自分を表現しようとする意欲が育たないでしょう。それに「指示、命令、禁止」は親からの一方通行ですから、コミュニケーションとはいえません。小さな問題でも「あなたはどう思うの?」「あなたはどっちがいいの?」と、子どもに考えさせたり選択させる機会を増やしてください。その場合、親と考えが異なっても頭から否定しないことが大切でしょう。これは、子どもの言いなりになったり、わがままを通させるということとは違います。親との豊かなコミュニケーションをとおして、子どもの「自分で考え、それを表現する力」が育つと、私は信じています。

※小林相談員は、あさひ園・カンガルーあさひなどで相談活動を行っています。

9月活動報告

ファミリーサポート交流会 9月19日(木)



ピーターパンさんの絵本よみきかせ



会員さん同士で交流を深めました